
業績ハイライト

－ 2020年3月期第2四半期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2020年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2019年9月期		増減率	2018年9月期	2019年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
連結経常収益	19,670	△ 1,728	△ 8.0	21,398	42,850
経常利益	948	△ 811	△ 46.1	1,760	2,592
親会社株主に帰属する中間純利益	711	△ 530	△ 42.7	1,242	1,630

- じもとホールディングスの連結経常収益は196億70百万円、経常利益は9億48百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は7億11百万円となりました。

② 2行合算

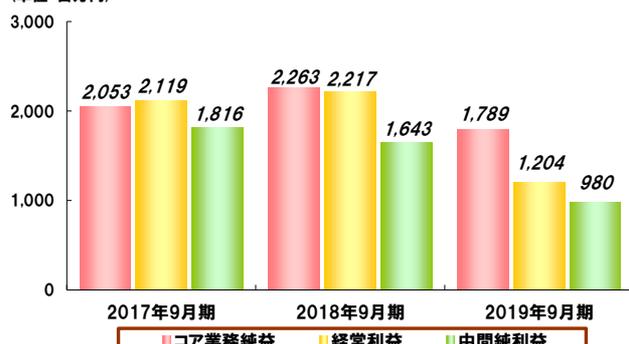
(単位:百万円、%)

	2019年9月期		増減率	2018年9月期	2019年3月期 (参考)
	前年同期比	増減率			
経常収益	17,334	△ 1,746	△ 9.1	19,080	37,286
業務粗利益	13,849	△ 1,242	△ 8.2	15,091	28,860
資金利益	12,980	△ 826	△ 5.9	13,807	26,645
役務取引等利益	786	10	1.3	776	2,019
その他業務利益	81	△ 425	△ 83.8	507	196
うち国債等債券損益	31	△ 126	△ 80.2	157	△ 287
経費(除く臨時処理分)	12,028	△ 641	△ 5.0	12,670	24,994
うち人件費	6,004	△ 358	△ 5.6	6,363	12,448
うち物件費	5,155	△ 242	△ 4.4	5,397	10,760
実質業務純益(注1)	1,820	△ 600	△ 24.8	2,421	3,866
コア業務純益(注2)	1,789	△ 474	△ 20.9	2,263	4,153
除く投資信託解約損益	1,178	△ 221	△ 15.8	1,399	2,723
一般貸倒引当金繰入額	149	149	-	-	154
業務純益	1,670	△ 750	△ 30.9	2,421	3,711
臨時損益	△ 466	△ 262	-	△ 203	△ 958
うち不良債権処理額	430	△ 227	△ 34.5	657	1,541
うち個別貸倒引当金繰入額	180	180	-	-	377
うち貸倒引当金戻入益	147	△ 108	△ 42.2	256	393
うち株式等関係損益	△ 49	△ 552	-	502	616
経常利益	1,204	△ 1,012	△ 45.6	2,217	2,753
特別損益	△ 168	△ 22	-	△ 146	△ 390
中間純利益	980	△ 662	△ 40.3	1,643	1,848
与信関係費用	393	△ 6	△ 1.6	400	1,300

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比17億46百万円減少の173億34百万円(増減率△9.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比4億74百万円減少の17億89百万円(増減率△20.9%)となりました。
- 経常利益は前年同期比10億12百万円減少の12億4百万円、中間純利益は前年同期比6億62百万円減少の9億80百万円となりました。

1. 損益の状況

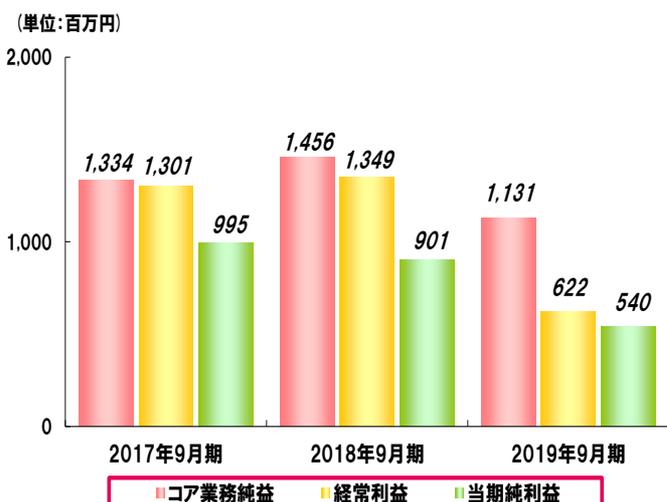
③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	2019年9月期			2018年9月期	2019年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	9,782	△ 1,109	△ 10.1	10,892	21,097
業務粗利益	8,040	△ 910	△ 10.1	8,951	16,891
資金利益	7,241	△ 697	△ 8.7	7,939	14,850
うち貸出金利息	6,152	△ 72	△ 1.1	6,225	12,446
うち有価証券利息配当金	1,173	△ 705	△ 37.5	1,879	2,650
役務取引等利益	649	97	17.7	551	1,454
その他業務利益	150	△ 310	△ 67.3	460	586
うち国債等債券損益	100	△ 58	△ 36.6	158	13
経費(除く臨時処理分)	6,808	△ 527	△ 7.1	7,336	14,339
うち人件費	3,329	△ 314	△ 8.6	3,644	7,077
うち物件費	3,007	△ 186	△ 5.8	3,194	6,307
実質業務純益(注1)	1,231	△ 383	△ 23.7	1,615	2,551
コア業務純益(※注2)	1,131	△ 325	△ 22.3	1,456	2,538
(除く投資信託解約損益)	958	△ 59	△ 5.8	1,017	2,079
①一般貸倒引当金繰入額	149	149	-	-	-
業務純益	1,082	△ 532	△ 32.9	1,615	2,551
臨時損益	△ 459	△ 194	-	△ 265	△ 805
②うち不良債権処理額	279	101	56.9	177	554
うち個別貸倒引当金繰入額	180	180	-	-	-
うち貸倒引当金戻入益	-	△ 169	△ 100.0	169	393
うち株式等関係損益	△ 49	△ 127	△ 163.5	77	△ 159
経常利益	622	△ 727	△ 53.8	1,349	1,745
特別損益	△ 37	31	-	△ 69	△ 279
中間純利益	540	△ 361	△ 40.0	901	1,008
与信関係費用	390	382	-	8	160

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益



- 経常収益は、有価証券利息配当金等の資金利益が減少したことなどから、前年同期比11億9百万円減少の97億82百万円(増減率△10.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が前年同期比で5億27百万円減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億25百万円減少の11億31百万円(増減率△22.3%)となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額や不良債権処理額が増加したことから、前年同期比3億82百万円増加の3億90百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比7億27百万円減少の6億22百万円、中間純利益は前年同期比3億61百万円減少の5億40百万円となりました。

1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

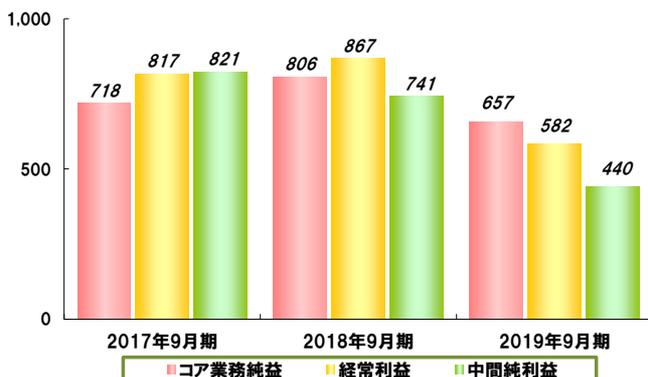
	2019年9月期		増減率	2018年9月期	2019年3月期 (参考)
		前年同期比			
経常収益	7,551	△ 637	△ 7.7	8,188	16,189
業務粗利益	5,808	△ 331	△ 5.4	6,140	11,969
資金利益	5,739	△ 128	△ 2.1	5,867	11,794
うち貸出金利息	4,665	126	2.7	4,539	9,149
うち有価証券利息配当金	1,128	△ 273	△ 19.5	1,401	2,777
役務取引等利益	137	△ 87	△ 38.8	225	565
その他業務利益	△ 68	△ 115	-	46	△ 390
うち国債等債券損益	△ 69	△ 68	-	△ 0	△ 300
経費(除く臨時処理分)	5,219	△ 114	△ 2.1	5,334	10,655
うち人件費	2,674	△ 44	△ 1.6	2,718	5,370
うち物件費	2,148	△ 55	△ 2.5	2,203	4,453
実質業務純益(注1)	588	△ 217	△ 26.9	806	1,314
コア業務純益(注2)	657	△ 148	△ 18.4	806	1,615
(除く投資信託解約損益)	220	△ 162	△ 42.4	382	643
①一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	154
業務純益	588	△ 217	△ 26.9	806	1,160
臨時損益	△ 6	△ 68	-	61	△ 153
②うち不良債権処理額	151	△ 328	△ 68.4	479	986
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	377
(貸倒償却引当費用①+②)	151	△ 328	△ 68.4	479	1,140
うち貸倒引当金戻入益	147	61	70.6	86	-
うち株式等関係損益	△ 0	△ 425	-	425	775
経常利益	582	△ 285	△ 32.8	867	1,007
特別損益	△ 130	△ 54	-	△ 76	△ 110
中間純利益	440	△ 301	△ 40.6	741	840
与信関係費用	3	△ 389	△ 99.2	392	1,139

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

- 経常収益は、貸出金利息が増加したものの、有価証券利息配当金、生命保険販売手数料、株式等売却益、国債等債券売却益が減少したことなどから、前年同期比6億37百万円減少の75億51百万円(増減率△7.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことに加え、生命保険販売手数料の減少等により役務取引等利益が減少したことなどから、前年同期比1億48百万円減少の6億57百万円(増減率△18.4%)となりました。
- 与信関係費用は、不良債権処理額の減少等により、前年同期比3億89百万円減少の3百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比2億85百万円減少の5億82百万円、中間純利益は前年同期比3億1百万円減少の4億40百万円となりました。

(単位:百万円)



2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.24%となりました。

(単位: %)

	2019年 9月末	2018年 9月末比	増減率	2018年 9月末
	連結自己資本比率	8.24		△ 0.46

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



- 単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2018年9月末比0.50ポイント低下の8.10%となりました。

(単位: %)

	2019年 9月末	2018年 9月末比	増減率	2018年 9月末
	自己資本比率[単体]	8.10		△ 0.50
自己資本比率[連結]	7.97	△ 0.50	△ 5.90	8.47

③ 仙台銀行

自己資本比率の推移



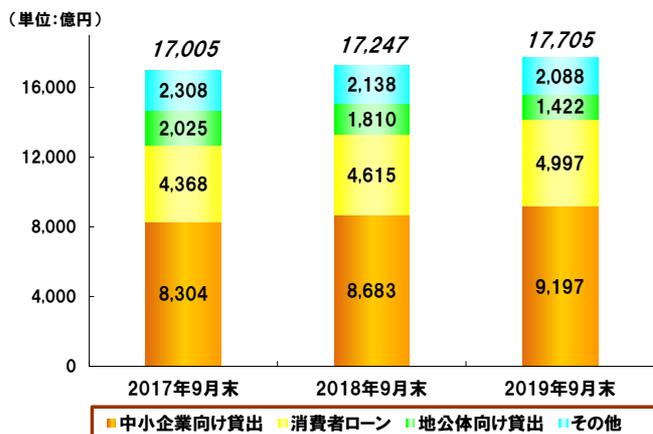
- 自己資本比率は、中間純利益を4億40百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2018年9月末比0.40ポイント低下の8.59%となりました。

(単位: %)

	2019年 9月末	2018年 9月末比	増減率	2018年 9月末
	自己資本比率	8.59		△ 0.40

3. 貸出金の状況

① 2行合算



● 2行合算の貸出金残高は、2018年9月末比458億49百万円増加の1兆7,705億82百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
貸出金(末残)	1,770,582	45,849	2.6	1,724,732
うち中小企業向け貸出残高	919,723	51,377	5.9	868,346
うち消費者ローン	499,775	38,250	8.2	461,525
うち住宅ローン	455,811	37,119	8.8	418,691
うち地方公共団体向け貸出	142,277	△ 38,726	△ 21.3	181,004

② きらやか銀行



● 貸出金残高は、地公体向け貸出が減少したものの、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことにより、2018年9月末比235億25百万円増加の1兆335億93百万円となり、きらやか銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

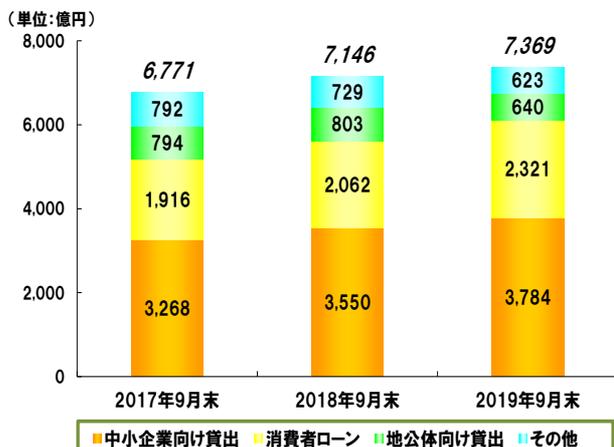
● 中小企業向け貸出は、本業支援を着実に実施した結果2018年9月末比279億91百万円増加の5,413億18百万円となりました。

● 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2018年9月末比123億76百万円増加の2,676億49百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
貸出金(末残)	1,033,593	23,525	2.3	1,010,067
うち中小企業向け貸出残高	541,318	27,991	5.4	513,327
うち消費者ローン	267,649	12,376	4.8	255,273
うち住宅ローン	250,359	12,287	5.1	238,071
うち地方公共団体向け貸出	78,209	△ 22,399	△ 22.2	100,608

③ 仙台銀行



● 貸出金残高は、2018年9月末比223億24百万円増加の7,369億88百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

● 中小企業向け貸出は、本業支援を通じてお客さまの資金需要へ迅速かつ積極的に対応したことから、2018年9月末比233億86百万円増加の3,784億5百万円となりました。

● 消費者ローンは、住宅ローン等の増加により、2018年9月末比258億74百万円増加の2,321億26百万円となりました。

● 地方公共団体向け貸出は、2018年9月末比163億27百万円減少の640億68百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
貸出金(末残)	736,988	22,324	3.1	714,664
うち中小企業向け貸出残高	378,405	23,386	6.5	355,019
うち消費者ローン	232,126	25,874	12.5	206,252
うち住宅ローン	205,452	24,831	13.7	180,620
うち地方公共団体向け貸出	64,068	△ 16,327	△ 20.3	80,396

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算



● 2行合算の預金残高は、2018年9月末比202億26百万円減少の2兆3,159億48百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,315,948	△ 20,226	△ 0.8	2,336,174
うち個人預金	1,501,665	△ 12,442	△ 0.8	1,514,108
うち法人預金	568,636	△ 1,782	△ 0.3	570,418
うち公金預金	238,158	△ 6,197	△ 2.5	244,355

② きらやか銀行

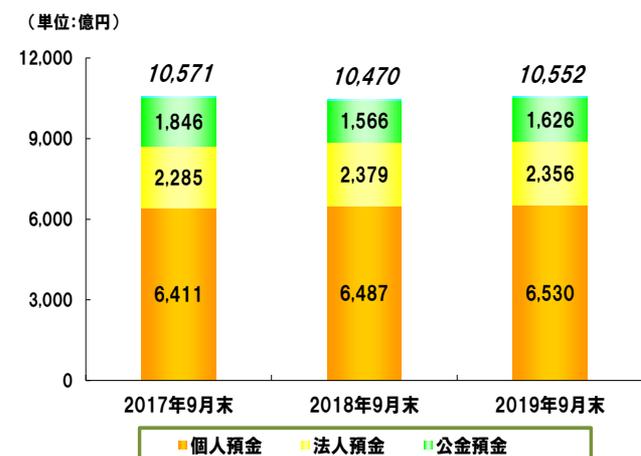


- 預金残高は、2018年9月末比284億95百万円減少の1兆2,606億72百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどにより、2018年9月末比167億18百万円減少の8,486億37百万円となりました。
- 法人預金は、中小企業向け預金を中心に、2018年9月末比5億51百万円増加の3,330億7百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,260,672	△ 28,495	△ 2.2	1,289,167
うち個人預金	848,637	△ 16,718	△ 1.9	865,356
うち法人預金	333,007	551	0.1	332,456
うち公金預金	75,476	△ 12,218	△ 13.9	87,694

③ 仙台銀行



- 預金残高は、2018年9月末比82億69百万円増加の1兆552億76百万円となりました。
- 個人預金は、2018年9月末比42億75百万円増加の6,530億27百万円となりました。
- 法人預金は、2018年9月末比23億33百万円減少の2,356億28百万円となりました。
- 公金預金は、2018年9月末比60億20百万円増加の1,626億81百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,055,276	8,269	0.7	1,047,007
うち個人預金	653,027	4,275	0.6	648,752
うち法人預金	235,628	△ 2,333	△ 0.9	237,962
うち公金預金	162,681	6,020	3.8	156,660

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

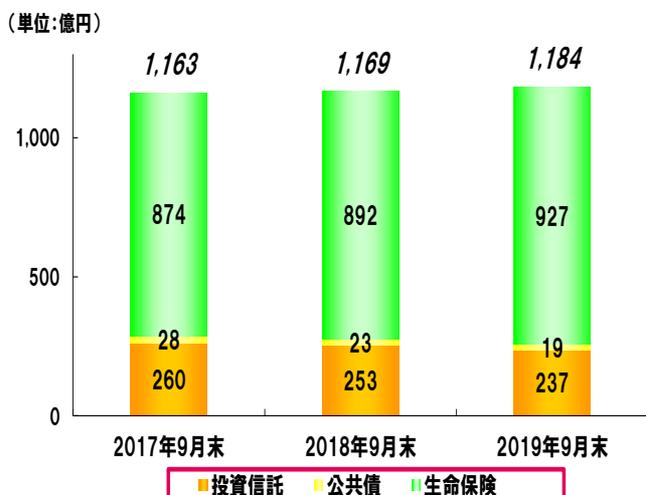


- 2行合算の預かり資産残高は、2018年9月末比80億66百万円増加の2,235億96百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
預かり資産(末残)	223,596	8,066	3.7	215,530
うち投資信託	34,007	△ 2,203	△ 6.0	36,211
うち公共債(国債等)	8,027	△ 1,472	△ 15.5	9,500
うち生命保険	181,561	11,743	6.9	169,818

② きらやか銀行

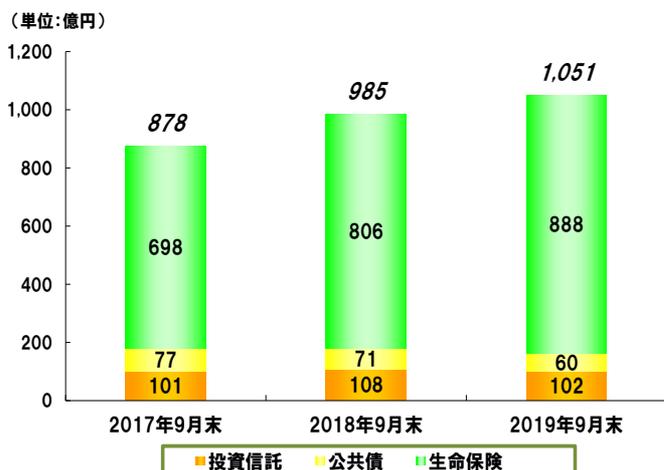


- 預かり資産残高は、2018年9月末比15億6百万円増加の1,184億54百万円となりました。
- 投資信託は、2018年9月末比15億90百万円減少の237億55百万円となりました。
- 公共債は、2018年9月末比4億39百万円減少の19億57百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズへの対応により、2018年9月末比35億35百万円増加の927億41百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
預かり資産(末残)	118,454	1,506	1.2	116,947
うち投資信託	23,755	△ 1,590	△ 6.2	25,345
うち公共債(国債等)	1,957	△ 439	△ 18.3	2,396
うち生命保険	92,741	3,535	3.9	89,205

③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、2018年9月末比65億59百万円増加の1,051億42百万円となりました。
- 投資信託は、2018年9月末比6億13百万円減少の102億51百万円となりました。
- 公共債は、2018年9月末比10億33百万円減少の60億70百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、2018年9月末比82億7百万円増加の888億20百万円となりました。

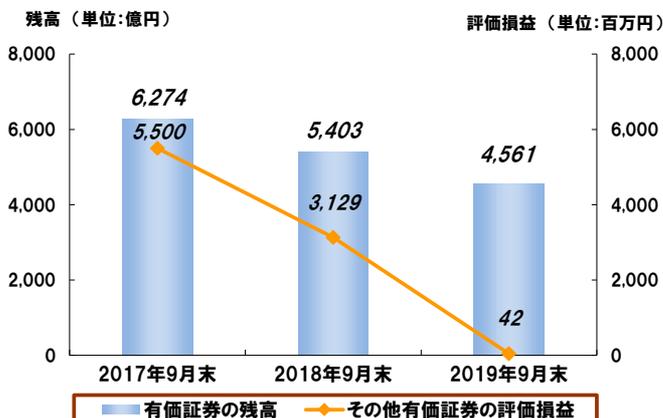
(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
預かり資産(末残)	105,142	6,559	6.6	98,582
うち投資信託	10,251	△ 613	△ 5.6	10,865
うち公共債(国債等)	6,070	△ 1,033	△ 14.5	7,104
うち生命保険	88,820	8,207	10.1	80,612

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2018年9月末比841億73百万円減少の4,561億47百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2018年9月末比30億86百万円減少し、42百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
有 価 証 券	456,147	△ 84,173	△ 15.5	540,320
国 債	83,380	△ 37,266	△ 30.8	120,647
地 方 債	74,427	△ 13,902	△ 15.7	88,330
社 債	142,312	△ 20,420	△ 12.5	162,732
株 式	11,162	△ 8,875	△ 44.2	20,038
そ の 他 証 券	144,864	△ 3,707	△ 2.4	148,572

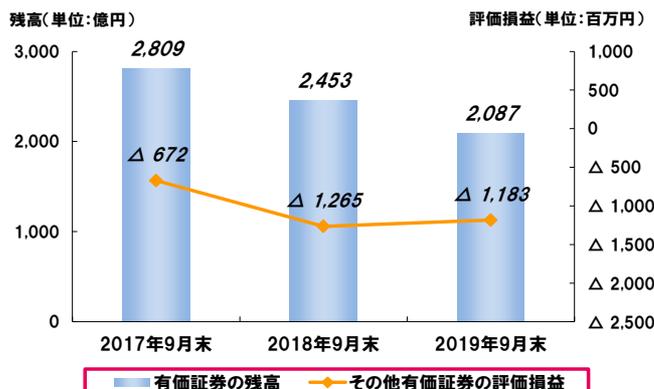
②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	2019年9月末	2018年9月末比	2018年9月末
そ の 他 有 価 証 券	42	△ 3,086	3,129
株 式	533	△ 2,322	2,856
債 券	2,639	533	2,105
そ の 他	△ 3,130	△ 1,297	△ 1,832

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、市場動向を踏まえ、運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、2018年9月末比366億43百万円減少の2,087億34百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金利の低下により債券等の評価益が増加したことなどから2018年9月末比82百万円増加し、11億83百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
有 価 証 券	208,734	△ 36,643	△ 14.9	245,378
国 債	39,686	△ 27,624	△ 41.0	67,311
地 方 債	9,445	△ 5,335	△ 36.0	14,781
社 債	50,950	△ 6,646	△ 11.5	57,596
株 式	8,115	△ 4,108	△ 33.6	12,224
そ の 他 証 券	100,536	7,071	7.5	93,465

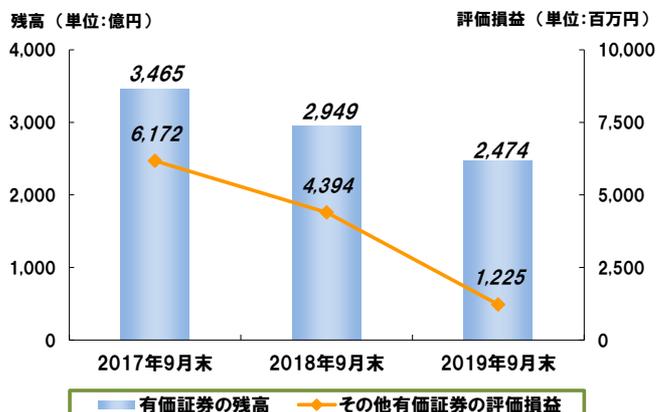
②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	2019年9月末	2018年9月末比	2018年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 1,183	82	△ 1,265
株 式	△ 270	△ 796	525
債 券	1,138	1,037	101
そ の 他	△ 2,051	△ 159	△ 1,892

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、債券償還・売却などで有価証券の正味残高が減少し、また、現状の低金利水準での再投資を控えたことから、2018年9月末比475億29百万円減少の2,474億12百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金利や株式、為替等の市場動向に加えて、株式や債券の売却による評価益の実現等により、2018年9月末比31億68百万円減少し、12億25百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	増減率	2018年9月末
有 価 証 券	247,412	△ 47,529	△ 16.1	294,942
国 債	43,694	△ 9,641	△ 18.0	53,336
地 方 債	64,981	△ 8,567	△ 11.6	73,548
社 債	91,361	△ 13,774	△ 13.1	105,136
株 式	3,047	△ 4,766	△ 61.0	7,814
そ の 他 証 券	44,327	△ 10,779	△ 19.5	55,107

②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

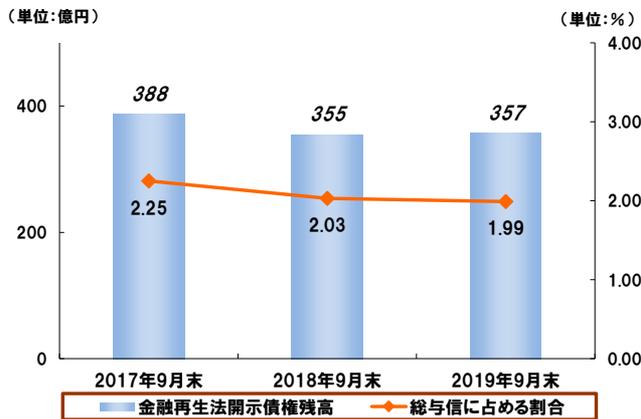
	2019年9月末	2018年9月末比	2018年9月末
そ の 他 有 価 証 券	1,225	△ 3,168	4,394
株 式	803	△ 1,526	2,330
債 券	1,500	△ 503	2,004
そ の 他	△ 1,078	△ 1,138	59

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2018年9月末比2億54百万円増加の357億77百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2018年9月末比0.04ポイント低下の1.99%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

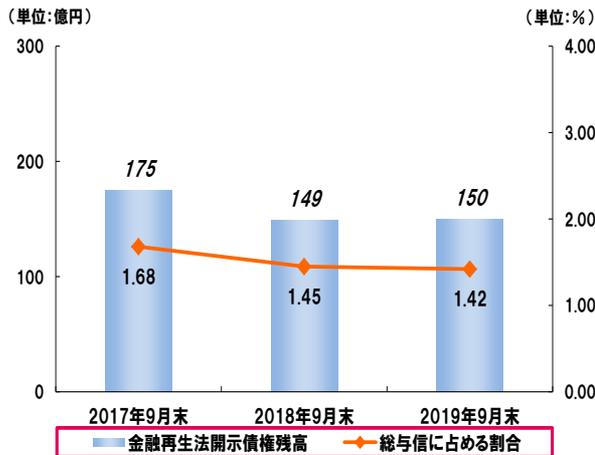
	2019年9月末	2018年9月末比	2018年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,256	△ 588	4,845
危険債権	27,270	1,056	26,213
要管理債権	4,250	△ 213	4,463
合計 (A)	35,777	254	35,523
正常債権	1,757,987	49,080	1,708,907
総与信額 (B)	1,793,765	49,335	1,744,430
(A / B)	1.99	△ 0.04	2.03

②金融再生法開示債権の保全状況(2019年9月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,256	4,256	3,009	1,246	100.00
危険債権	27,270	24,128	19,963	4,164	88.47
要管理債権	4,250	1,030	700	329	24.23
合計	35,777	29,414	23,673	5,741	82.21

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、取引先企業の財務改善支援を組織的に実施した結果、2018年9月末比41百万円増加の150億34百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、2018年9月末比0.03ポイント低下の1.42%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

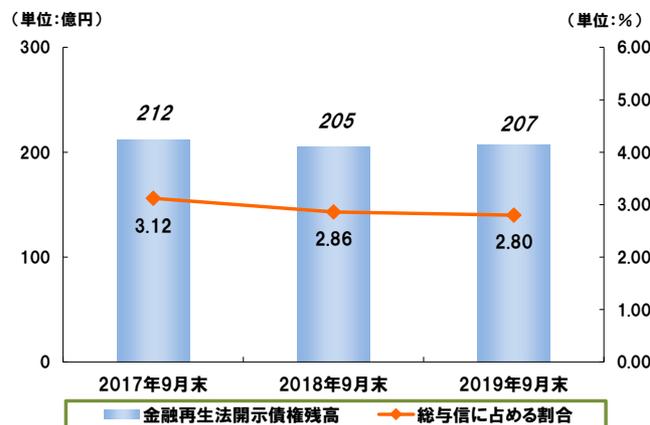
	2019年9月末	2018年9月末比	2018年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,349	△ 775	3,125
危険債権	9,897	975	8,922
要管理債権	2,787	△ 158	2,945
合計 (A)	15,034	41	14,992
正常債権	1,039,278	27,090	1,012,187
総与信額 (B)	1,054,312	27,132	1,027,180
(A / B)	1.42	△ 0.03	1.45

②金融再生法開示債権の保全状況(2019年9月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,349	2,349	1,498	851	100.00
危険債権	9,897	7,462	6,874	588	75.39
要管理債権	2,787	532	211	321	19.10
合計	15,034	10,345	8,584	1,760	68.80

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2018年9月末比2億12百万円増加の207億43百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2018年9月末比0.06ポイント低下の2.80%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

	2019年9月末	2018年9月末比	2018年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,906	186	1,720
危険債権	17,373	81	17,291
要管理債権	1,462	△ 55	1,518
合計 (A)	20,743	212	20,530
正常債権	718,709	21,990	696,719
総与信額 (B)	739,452	22,203	717,249
(A / B)	2.80	△ 0.06	2.86

②金融再生法開示債権の保全状況(2019年9月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,906	1,906	1,510	395	100.00
危険債権	17,373	16,665	13,089	3,576	95.92
要管理債権	1,462	497	489	8	34.00
合計	20,743	19,069	15,089	3,980	91.93

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2018年9月期比2.21ポイント上昇し、87.05%となりました。



(単位:%)

		2019年9月期	2018年9月期比	2018年9月期
コアOHR	2行合算	87.05	2.21	84.84
	きらやか銀行	85.75	2.32	83.43
	仙台銀行	88.80	1.94	86.86

9. 2020年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの2020年3月期の連結業績予想は、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2020年3月期の中間配当金は、1株あたり2円50銭をお支払いいたします。また、期末配当金は、1株あたり2円50銭を予定しております。

(単位:百万円)

	2020年3月期	(参考) 2019年3月期
経常利益	2,200	2,592
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,000	1,630

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)2019年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益16億円、当期純利益14億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益10億円、当期純利益9億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	2020年3月期	(参考) 2019年3月期
経常利益	1,600	1,745
当期純利益	1,400	1,008

仙台銀行

(単位:百万円)

	2020年3月期	(参考) 2019年3月期
経常利益	1,000	1,007
当期純利益	900	840